

①個別データシート

整理番号:

JP212001

種類

サービス

英名

plastic pipes forming

分類

プラスチック製品

和名

カレンダー加工,塩化ビニル・ゴム

・GHG排出量

6.19E-01 kg-CO2e/kg

・情報源分類

その他調査データ

・技術記述子

カレンダー加工

・技術の内容と機能

カレンダー加工法は熱可塑性樹脂を溶融し、多段のロール圧延によりシート／フィルムを製造する方法である。ここでは、塩化ビニルを対象とする。

・情報源

社団法人産業環境管理協会：“平成14年度製品等ライフサイクル環境影響評価技術開発成果報告書”，（2003）

・データ作成者コメント

文献データを精査しインベントリ化した

・適用範囲

塩化ビニル・ゴムのカレンダー加工

・システム境界

資源採取から対象物の加工までを範囲とする。製品の日本国内における輸送を含まない。包装材を含まない。輸送のための梱包材を含まない。排水処理を含まない。産廃処理を含まない。加工プロセスのため、加工される原材料ならびに加工された製品は含まない。

・配分

共製品はなく配分なし。

・GHG排出量の要因

主なGHG排出源は、電力,系統電力(消費電力)由来のCO2(化石資源由来)、熱エネルギー,A重油(A重油)由来のCO2(化石資源由来)、である。

②入出力データ

区分	フロー区分	品目名	連鎖した品目名	公開 整理 番号	数値	単位	備考	
ユーティリティ	中間フロー	入力	消費電力	電力,公共	JP120001	7.03E-01	kWh	
ユーティリティ	中間フロー	入力	A重油	燃焼・A重油	JP111017	7.80E-02	kg	
製品	中間フロー	出力	カレンダー加工,塩化 ビニル・ゴム	カレンダー加工,塩化 ビニル・ゴム	JP212001	1.00E+00	kg	加エプロセス